

支亞干 部落

花蓮・萬榮



本に入り、日々のトライアンドエラーに入る。
例えば、幼い頃おばあちゃんちの庭にある鶏舎に入り、
年寄りとの会話に入り込む。

光と川沿いに、あるいは山河と平地の間にある。
移り変わる山の景色と、鳴り響く木琴の楽音の中、
宴の物語には若者たちが必死に生きていく印が載せてある。

